

第135回 老年学公開講座

# ヒートショックから熱中症まで —季節変化と健康危機—



当日先着  
**470人**  
事前申込不要・  
入場無料

定員に達した場合は  
ご入場いただけません  
のでご了承ください。

平成26年

**11月20日** 木

午後1時15分～  
午後4時30分

会場

調布市文化会館たづくり  
くすのきホール

東京都調布市小島町2-33-1

講演

手話通訳あり

## 1 「ヒートショックを解明する」

東京都健康長寿医療センター研究所 副所長

高橋 龍太郎

## 2 「熱中症はなぜ高齢者に多発するのか」

東京都健康長寿医療センター研究所

福祉と生活ケア研究チーム 研究員

野本 茂樹

## 3 「季節でかわるはやり病」

東京都健康長寿医療センター 顧問医

稲松 孝思

質疑応答

東京都健康長寿医療センター研究所  
司会 石神 昭人 老化制御研究チーム 研究部長

主催 東京都健康長寿医療センター研究所

共催 調布市



京王線 調布駅 中央口改札  
広場口出口から徒歩3分



地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター  
東京都健康長寿医療センター 研究所  
(東京都老人総合研究所)

広報普及係

**03-3964-3241** (内線1240)

ホームページ [http://www.tmghig.jp/J\\_TMIG/J\\_index.html](http://www.tmghig.jp/J_TMIG/J_index.html)

定員に達した場合はご入場いただくことができませんので、ご了承ください。



# ヒートショックから 熱中症まで

## —季節変化と健康危機—

病気や事故にはいろいろな原因が関わっています。食べすぎ、飲みすぎは糖尿病や肝臓病を引き起こすかもしれませんし、ガンになりやすい体質の本体も遺伝子の研究からわかってきました。実は、季節の移り変わりも私たちの健康に大いに関わりがあるのです。

国が毎年発表している我が国の死亡者の数をみますと、6月と9月が最も少なく、12月、1月に最も多くなっています。また、7月、8月も結構多い月です。私たちの体も、暑すぎたり寒すぎたりする時期には大いに影響を受けているのです。今回はその代表例である冬場の入浴死（ヒートショックと呼ばれることもあります）、高齢者に多発する熱中症、そして気温と関係が深い感染症についてお話します。

東京都健康長寿医療センター研究所  
副所長 高橋 龍太郎

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター  
東京都健康長寿医療センター 研究所  
(東京都老人総合研究所)

広報普及係

03-3964-3241 (内線1240)

ホームページ [http://www.tmgig.jp/J\\_TMIG/J\\_index.html](http://www.tmgig.jp/J_TMIG/J_index.html)